

講義名	日本語総合A(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	野村 由香里	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

・学部留学生として大学生活に必要な日本語能力を身につけるため、この授業では基本的な文法項目の意味や使い方を学ぶ。
 ・単に文法知識を学ぶだけでなく、日本語能力試験にも対応できるよう、また、実際の日本語での会話等で文法がどのように使われるかも考える。

到達目標

大学における学習活動に役立つように、文法構文の意味理解だけでなく、実際に運用もできるようになる。また、適切な日本語で表現したり、日本語能力試験にも対応できるようになる。

提出課題

ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各学生に課したテストや課題について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

評価の基準

授業内の課題（30%）、中間確認テスト（30%）、期末確認テスト（30%）

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回点呼で行う。
 欠席が5回以上の場合、期末試験を受けることができない。
 遅刻3回で1回の欠席とする。
 15分以上の遅刻は欠席となる。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

日本語総まとめ文法シリーズ等のプリント

授業計画

第1回 授業に関するオリエンテーション / レベルチェックテスト
 第2回 第1課 1 - 9
 第3回 第1課 10 - 18
 第4回 第1課復習と問題及び第2課 19 - 30
 第5回 第2課 31 - 40
 第6回 第2課復習と問題及び第3課 41 - 51
 第7回 第3課 52 - 62
 第8回 第3課復習と問題
 第9回 中間確認テスト
 第10回 第4課 63 - 74
 第11回 第4課 75 - 86
 第12回 第4課復習と問題及び第5課 87 - 94
 第13回 第5課 95 - 106
 第14回 第5課 107 - 110 及び復習と問題
 第15回 期末確認テスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各資料に関して、語句の読みや意味調べなどの予習を、1時間行ってください。また、復習に特に力を入れてください。音読すると記憶に定着しやすいです。普段から日本語の文章に親しむこと（毎回3時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」等になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身につけ、活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考